

当局のローカル線廃止 合理化策が生んだ爆発 保安無視の結果だ!!

三月一三日、一八時の五分、木原線西大原より総東四四四附近を三〇KM/Hで走行中の七六七〇列車(勝浦支部・佐藤浩寿運転士)が、線路内に土砂および落石のあることを発見した。さいわい発見した乗務員の時機を得たブレーキ手配により大事にいたらず、こたなきをえたのである。

起るべくして起きた事故だ!!

まずオーにこの事故のもつ重大性は、当局自らが危険箇所として認定し、落石警報装置を設置してあったにもかかわらず、僅かハMMの雨量によって土砂崩壊し、警報装置が作動しなかったのである。

オ二に、ローカル線廃止を打ちだす国鉄当局の「施策」の中で、ローカル線である木原線、久留里線は、線路保守をはじめ一切の運転保安が無視され、放置され、荒廃状況の直前になる状況下であり、まさに起るべくして起きた事故である。したがってこの事故の一切の責任は国鉄当局にあるのだ。

われわれは自らの生命を守り、乗客大衆の生命を守るためにも、オ三三回臨時大会で確立した「貨物安定宣言」を放棄し、迫りくる大合理化攻撃に対決しよう。この闘争路線にもとづく具体的闘いの展開すなわち、新たな反合・運転保安闘争の構築として闘わなければならない。

すでに事故の当該支部である勝浦支部は、新たな反合・運転保安闘争としてこの取組みを重視し、事故発生と同時に、支部役員が先頭にたって、事故現場の調査、区当局に対する抗議交渉を深夜にわたって展開している。組合員は、ふたた

び事故が発生するおそれがあるなかで、なにかつ落石警報装置が故障したままでは、運転再開することは不安だ。乗務員ももちろん、地本もこの事故を最重要視し、千鉄当局に対し厳重に抗議し、ふたたび事故を起させない対策を要求し、深夜にわたって当局を追及している。さらに、三月一四日一〇時から抗議交渉を行う。すべての組合員のみなさん!!
千葉地本組織破壊攻撃を粉碎しよう!!
反合・運転保安闘争を強化しよう!!
三月一四日 二時

年度末手当

交渉経過報告

労働は、年度末手当一ヶ月分を要求している。

三月九日に交渉し、組合はの支払い日三月一五日に合意した。具体的回答を示せ、と強く迫ったが、本社・当局は公務員、他公社の関連もあり、現段階で具体的内容について回答できないと終始した。

組合は次回交渉で最大限追い上げる。こととして、交渉を打ち切った。

お知らせ

地本青年部!!

三月一七日の青行隊ブロック対抗フットボール大会の集合場所は、八時五十分、幕張電車区に決まりました。